

東京国道事務所管内約1万本の 効率的な街路樹診断について

平田 政憲¹

¹関東地方整備局 東京国道事務所 管理第二課 (〒102-8340 東京都千代田区九段南1-2-1 15階)

街路樹は大気浄化や緑陰形成など重要な役割を担っている一方、落枝や倒木が発生すると国民の生命と財産へ影響を及ぼす。東京国道事務所管内には街路樹診断対象木が約1万本あるが、厳しい予算状況のなか街路樹診断が進まず、落枝や倒木につながる異常等の把握が不十分となっていることが問題となっていた。

そこで、コストを抑えながら枯れや腐朽等の異常による落枝や倒木を未然に防ぎ、安全安心な道路交通を確保するため、街路樹診断の効率化に取り組んだ事例について報告する。

キーワード 維持管理、管理瑕疵、街路樹、診断、点検

1. はじめに

街路樹は、騒音の緩和や大気の浄化による生活環境の保全、火災の延焼防止等の防災、夏の暑い日差しを和らげる緑陰の形成、紅葉や並木による景観向上など、重要な役割を担っている。(図-1、写真-1) 一方で、枯れや腐朽など枝や幹根の異常が原因で落枝や倒木が発生すれば、国民の生命・財産に影響を及ぼす。

東京国道事務所では、昭和33年より道路の緑化保全をスタートし、現在約16,000本の街路樹を管理している。さらに平成14年から、枝折れや倒木による第三者被害の影響が大きい幹周60cm以上(ヤナギとエンジュは30cm以上)の高木約10,000本を対象に街路樹診断を実施している。

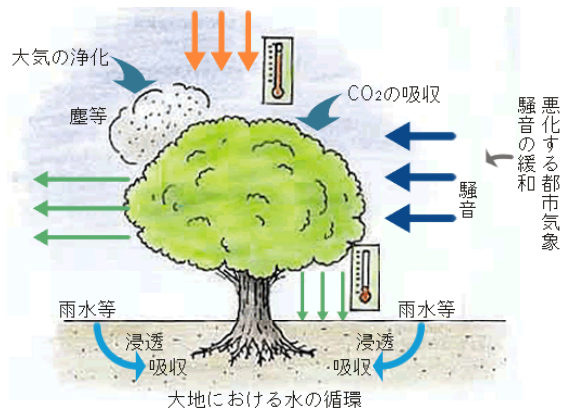


図-1 樹木による生活環境保全イメージ

しかし、厳しい予算状況のなかで街路樹診断が進まず、落枝や倒木につながる異常等の把握が不十分となっていた。

そこで、コストを抑えながら第三者被害発生前に枯れや腐朽等の異常を把握・措置することで、落枝や倒木を未然に防ぎ、安全安心な道路交通を確保するため、街路樹診断の効率化に取り組んだ事例について報告する。

2. 街路樹診断の現状と問題点

平成24年度に東京国道事務所管内において、落枝による第三者被害が6件発生した。(表-1) 幸いにも人命への被害はなかったが、5万台/日以上以上の交通量がある国道での落枝は、より大きな被害となっていた可能性もある。

落枝の原因調査から判明した問題点を次に述べる。



写真-1 街路樹による緑陰形成状況
(一般国道20号世田谷区ケヤキ並木)

表-1 平成 24 年度の樹木による第三者被害発生状況

	日 付	被 害 状 況	気象条件	管理瑕疵 有無
1	H24619	①落枝により通行車両3台(写真2)	台風4号	管理瑕疵
2		②落枝により沿道家屋屋根を損傷		なし
3	H24714	落枝により通行車両を損傷(写真3)	普通の風	管理瑕疵 確定
4	H24813	落枝により通行バイクの運転手に 接触(写真4)	普通の風	管理瑕疵 確定
5	H24921	落枝により駐車車両のフロントガ ラス損傷	普通の風	請求なし
6	H24927	落枝により通行車両のボンネット 損傷	普通の風	請求なし



写真-2 落枝による車両損傷状況 (H24. 6. 19)



写真-3 落枝した大枝 (H24. 7. 14)



写真-4 落枝した大枝 (H24. 8. 13)

2. 1 問題点 1 : 厳しい予算状況

東京国道事務所における緑地管理予算は、平成 21 年度に約 380 百万であったが、平成 24 年度には約 210 百

万円となり約 45%減となった。このような厳しい予算状況のなか、平成 21 年度に約 3,300 本(約 5,700 万円)実施していた街路樹診断が、平成 23 年度には 1 本も実施することができなかった。

この結果、街路樹診断対象木の約 7 割(約 7 千本)がサイクル通り診断できておらず、未診断木が年々増加し、街路樹の異常・被害の把握が不十分となっている。

更に、剪定頻度の減少(平成 21 年度約 9,700 本から平成 24 年度約 6,800 本)により枯れ枝等の危険枝を撤去する間隔が長くなっていることから、落枝や倒木による危険性が高まっていることが問題であった。

2. 2 問題点 2 : 樹木保全を優先した運用

平成 24 年度に落枝による第三者被害を発生した樹木について原因調査を行った結果、過去の街路樹診断で被害ありと診断された大枝が落枝していたことが判明した。

診断結果では、樹皮枯死とキノコ(チャアタナモドキ)による被害があり、程度が「大」となっていたにもかかわらず、処置については「軽減剪定」となっており、危険箇所が撤去されていなかった。(図-2、3、写真-5、6)

さらに、過去の街路樹診断結果で「被害あり」となっていた 72 本について緊急点検を行ったところ、46 本(約 6 割)の被害箇所で危険な枝が剪定撤去されておらず、樹木保存を優先していることが問題であった。

外観診断チェックリスト						
No. 4697		樹木番号 G0DT2410-001		樹種名 ケヤキ		東京国道
		外 観		診 断		
活力	樹 勢 (枝の伸長量、樹梢の枯損、枝端の枯損、葉の密度、葉の大きさ、葉色等)			☐ a	☐ b	☒ c ☐ d
	樹 形 (主幹・青枯となる大枝・枝などの枯損及び欠損、枝の密度と配置等)			☐ a	☒ b	☐ c ☐ d
大枝の付根 となる大枝	被害の有無	☐ なし ☒ あり				
	被害の種類	☒ 樹皮枯死 ☒ 樹皮欠損 ☐ 空洞 ☒ キノコ		☐ 亀裂	☐ がんし	
	被害の程度	☐ 小さく概ね問題ない[B] ☐ 中 ☒ 大				
	中程度以上の被害のある大枝の数(1/3未満[C] ☐ 1/3以上[D] ☐ ほとんど問題あり、危険な樹形)					
	剪定など、処置の必要性	☐ 不要 ☒ 必要 (処置内容: ☐ 切替 ☒ その他: 軽減剪定)				
	処置の必要な大枝の数	☐ 1/3未満[C] ☐ 1/3以上[D] ☐ ほとんど問題あり、危険な樹形)				

図-2 街路樹診断カルテ (抜粋)

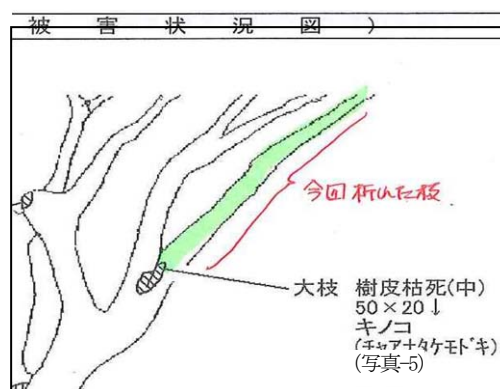


図-3 街路樹診断カルテ (抜粋)



写真-5

街路樹診断カルテ（抜粋）



写真-6 枝落後の状況

3. 他事務所、他機関の状況

課題解決に向け他事務所・機関の状況を確認した結果は表-2 のとおりである。当事務所と同様に厳しい予算状況により十分な街路樹診断ができていない。

また、東京都では簡易的な初期診断を実施し、異常または、異常の疑いのある木について街路樹診断を実施していることがわかった。

表-2 他機関の街路樹診断状況

	機関名
街路樹診断実施	東京都
一部実施（十分でない）	福岡国道、横浜国道 相武国道、大宮国道
実施していない	名古屋国道、大阪国道、千葉国道

4. 問題解決に向けた取組み

2つの問題点を解決し、枝折れや倒木につながる異常を効率的に把握し、適切に処置してしていくために取り組んだ2つの改善策を以下に述べる。

4.1 改善策1：異常等の把握方法を効率化（診断→点検へのシフト）

従来は、異常の種類や寸法を計測・記録することに加え、異常の程度を診断し、街路樹の健全度として5段階で評価していた。（図-4）これは、道路の安全を確保しながらも、樹木をなるべく生かしていくためには有効であるが費用がかかる。そこで、異常箇所を早期に措置す

No. 021		外観診断チェックリスト		東京国道 事務所	
樹木番号 DGDH2903-001		樹種名 フナナシ		診断	
活力	樹勢（注：幹の太さ、葉の緑の濃さ、枝の密度、葉の大きさ、葉の色等）	☐ a ☒ b ☐ c ☐ d ☐ e			
	樹形（主幹・幹と幹との間、枝の密度及び太さ、枝の密度と距離等）	☐ a ☒ b ☐ c ☐ d ☐ e			
	枝葉の有無	☐ なし ☒ あり			
	枝葉の種類	☐ 樹皮枯死 ☐ 樹皮欠損 ☐ 空洞 ☐ キノコ ☐ 亀裂 ☐ がんじゅ ☐ 枯枝			
	枝葉の程度	☐ 小く枝の問題ない[B] ☐ 中 ☐ 大			
	中程度以上の枝葉のある大枝の数	☐ 1/2未満[C] ☐ 1/2以上[D]			
	剪定など、処置の必要性	☐ 不要 ☐ 必要（処置内容：口切除 ☐ その他：			
	処置の必要大枝の数	☐ 1/2未満[C] ☐ 1/2以上[D] ☐ ほどんど切除を要す切除後樹形崩壊[E]			
	樹皮枯死欠損	☐ なし ☒ あり			
	空洞	☐ なし ☒ あり			
幹	キノコ	☐ なし ☒ あり			
	口ベッコウタケ[D] ☐ コフキタケ[D] ☐ その他[C]	☐ なし ☒ あり			
	木組打診による空洞音	☐ なし ☒ 小[C] ☐ 大[D]			
	樹幹傾斜	☐ なし ☒ 小 ☐ 大			
	口要支柱設置[D] ☐ 要補修[E]	☐ なし ☒ あり			
	被害部の傾向	☐ 回復 ☐ 悪化			
	被害部の傾向	☐ 回復 ☐ 悪化			
	被害部の傾向	☐ 回復 ☐ 悪化			
	被害部の傾向	☐ 回復 ☐ 悪化			
	被害部の傾向	☐ 回復 ☐ 悪化			
幹の分岐部	枝葉の有無	☐ なし ☒ あり			
	枝葉の種類	☐ 樹皮枯死 ☐ 樹皮欠損 ☐ 空洞 ☐ キノコ ☐ 亀裂 ☐ 枯枝			
	枝葉の程度	☐ 小く枝の問題ない[B] ☐ 中[C] ☐ 大			
	剪定など、処置の必要性	☐ 不要 ☐ 必要（処置内容：口切除 ☐ その他：			
	処置の必要大枝の数	☐ 1本以上[D] ☐ 切除が必要で切除後樹形崩壊[E]			
	樹皮枯死欠損	☐ なし ☒ あり			
	空洞	☐ なし ☒ あり			
	キノコ	☐ なし ☒ あり			
	口ベッコウタケ[D] ☐ コフキタケ[D] ☐ 菌糸[D] ☐ その他[C]	☐ なし ☒ あり			
	木組打診による空洞音	☐ なし ☒ 小[C] ☐ 大[D]			
根元	根元周囲の状況	☐ なし ☒ あり			
	根元の種類	☐ 樹皮枯死 ☐ 樹皮欠損 ☐ 空洞			
	根元の程度	☐ 小く枝の問題ない[B] ☐ 中[C] ☐ 大			
	剪定など、処置の必要性	☐ 不要 ☐ 必要（処置内容：口切除 ☐ その他：			
	処置の必要大枝の数	☐ 1本以上[D] ☐ 切除が必要で切除後樹形崩壊[E]			
	根元の傾向	☐ 回復 ☐ 悪化			
	根元の傾向	☐ 回復 ☐ 悪化			
	根元の傾向	☐ 回復 ☐ 悪化			
	根元の傾向	☐ 回復 ☐ 悪化			
	根元の傾向	☐ 回復 ☐ 悪化			
特記事項	ルートカラーが地面に見えるか	☐ 見える ☒ 見えないが生育に影響なし[A] ☐ 見えない生育に影響あり[C]			
	露出根の被害	☐ なし ☐ ありが根の問題ない[B] ☐ 被害がある[C] ☐ 被害が大きい、多い根保護を要す[D]			
	露出根の被害	☐ なし ☐ ありが根の問題ない[B] ☐ 被害がある[C] ☐ 被害が大きい、多い根保護を要す[D]			
	露出根の被害	☐ なし ☐ ありが根の問題ない[B] ☐ 被害がある[C] ☐ 被害が大きい、多い根保護を要す[D]			
	露出根の被害	☐ なし ☐ ありが根の問題ない[B] ☐ 被害がある[C] ☐ 被害が大きい、多い根保護を要す[D]			
	露出根の被害	☐ なし ☐ ありが根の問題ない[B] ☐ 被害がある[C] ☐ 被害が大きい、多い根保護を要す[D]			
	露出根の被害	☐ なし ☐ ありが根の問題ない[B] ☐ 被害がある[C] ☐ 被害が大きい、多い根保護を要す[D]			
	露出根の被害	☐ なし ☐ ありが根の問題ない[B] ☐ 被害がある[C] ☐ 被害が大きい、多い根保護を要す[D]			
	露出根の被害	☐ なし ☐ ありが根の問題ない[B] ☐ 被害がある[C] ☐ 被害が大きい、多い根保護を要す[D]			
	露出根の被害	☐ なし ☐ ありが根の問題ない[B] ☐ 被害がある[C] ☐ 被害が大きい、多い根保護を要す[D]			

図-4 従来の街路樹診断カルテ

No. 021		街路樹診断カルテ1		東京国道 事務所	
樹木番号 DGDH2903-001		樹種名 フナナシ		診断	
活力	樹勢（注：幹の太さ、葉の緑の濃さ、枝の密度、葉の大きさ、葉の色等）	☐ a ☒ b ☐ c ☐ d ☐ e			
	樹形（主幹・幹と幹との間、枝の密度及び太さ、枝の密度と距離等）	☐ a ☒ b ☐ c ☐ d ☐ e			
	枝葉の有無	☐ なし ☒ あり			
	枝葉の種類	☐ 樹皮枯死 ☐ 樹皮欠損 ☐ 空洞 ☐ キノコ ☐ 亀裂 ☐ がんじゅ ☐ 枯枝			
	枝葉の程度	☐ 小く枝の問題ない[B] ☐ 中[C] ☐ 大			
	中程度以上の枝葉のある大枝の数	☐ 1/2未満[C] ☐ 1/2以上[D]			
	剪定など、処置の必要性	☐ 不要 ☐ 必要（処置内容：口切除 ☐ その他：			
	処置の必要大枝の数	☐ 1/2未満[C] ☐ 1/2以上[D] ☐ ほどんど切除を要す切除後樹形崩壊[E]			
	樹皮枯死欠損	☐ なし ☒ あり			
	空洞	☐ なし ☒ あり			
幹	キノコ	☐ なし ☒ あり			
	口ベッコウタケ[D] ☐ コフキタケ[D] ☐ 菌糸[D] ☐ その他[C]	☐ なし ☒ あり			
	木組打診による空洞音	☐ なし ☒ 小[C] ☐ 大[D]			
	樹幹傾斜	☐ なし ☒ 小 ☐ 大			
	口要支柱設置[D] ☐ 要補修[E]	☐ なし ☒ あり			
	被害部の傾向	☐ 回復 ☐ 悪化			
	被害部の傾向	☐ 回復 ☐ 悪化			
	被害部の傾向	☐ 回復 ☐ 悪化			
	被害部の傾向	☐ 回復 ☐ 悪化			
	被害部の傾向	☐ 回復 ☐ 悪化			
幹の分岐部	枝葉の有無	☐ なし ☒ あり			
	枝葉の種類	☐ 樹皮枯死 ☐ 樹皮欠損 ☐ 空洞 ☐ キノコ ☐ 亀裂 ☐ 枯枝			
	枝葉の程度	☐ 小く枝の問題ない[B] ☐ 中[C] ☐ 大			
	剪定など、処置の必要性	☐ 不要 ☐ 必要（処置内容：口切除 ☐ その他：			
	処置の必要大枝の数	☐ 1本以上[D] ☐ 切除が必要で切除後樹形崩壊[E]			
	樹皮枯死欠損	☐ なし ☒ あり			
	空洞	☐ なし ☒ あり			
	キノコ	☐ なし ☒ あり			
	口ベッコウタケ[D] ☐ コフキタケ[D] ☐ 菌糸[D] ☐ その他[C]	☐ なし ☒ あり			
	木組打診による空洞音	☐ なし ☒ 小[C] ☐ 大[D]			
根元	根元周囲の状況	☐ なし ☒ あり			
	根元の種類	☐ 樹皮枯死 ☐ 樹皮欠損 ☐ 空洞			
	根元の程度	☐ 小く枝の問題ない[B] ☐ 中[C] ☐ 大			
	剪定など、処置の必要性	☐ 不要 ☐ 必要（処置内容：口切除 ☐ その他：			
	処置の必要大枝の数	☐ 1本以上[D] ☐ 切除が必要で切除後樹形崩壊[E]			
	根元の傾向	☐ 回復 ☐ 悪化			
	根元の傾向	☐ 回復 ☐ 悪化			
	根元の傾向	☐ 回復 ☐ 悪化			
	根元の傾向	☐ 回復 ☐ 悪化			
	根元の傾向	☐ 回復 ☐ 悪化			
特記事項	ルートカラーが地面に見えるか	☐ 見える ☒ 見えないが生育に影響なし[A] ☐ 見えない生育に影響あり[C]			
	露出根の被害	☐ なし ☐ ありが根の問題ない[B] ☐ 被害がある[C] ☐ 被害が大きい、多い根保護を要す[D]			
	露出根の被害	☐ なし ☐ ありが根の問題ない[B] ☐ 被害がある[C] ☐ 被害が大きい、多い根保護を要す[D]			
	露出根の被害	☐ なし ☐ ありが根の問題ない[B] ☐ 被害がある[C] ☐ 被害が大きい、多い根保護を要す[D]			
	露出根の被害	☐ なし ☐ ありが根の問題ない[B] ☐ 被害がある[C] ☐ 被害が大きい、多い根保護を要す[D]			
	露出根の被害	☐ なし ☐ ありが根の問題ない[B] ☐ 被害がある[C] ☐ 被害が大きい、多い根保護を要す[D]			
	露出根の被害	☐ なし ☐ ありが根の問題ない[B] ☐ 被害がある[C] ☐ 被害が大きい、多い根保護を要す[D]			
	露出根の被害	☐ なし ☐ ありが根の問題ない[B] ☐ 被害がある[C] ☐ 被害が大きい、多い根保護を要す[D]			
	露出根の被害	☐ なし ☐ ありが根の問題ない[B] ☐ 被害がある[C] ☐ 被害が大きい、多い根保護を要す[D]			
	露出根の被害	☐ なし ☐ ありが根の問題ない[B] ☐ 被害がある[C] ☐ 被害が大きい、多い根保護を要す[D]			

異常の程度を診断し、街路樹の健全度を5段階で評価

ることで道路の安全を確保する方針へと転換し、異常の程度は診断せずに、異常箇所の種類と位置を把握するために街路樹を点検することとした。

また、従来は、異常の位置や状況を記載するための樹形略図（被害状況図）を作成することとしていたが、非常に時間を要し費用がかかるため、樹木の異常箇所を高き情報で記録することで効率化をおこなった。

さらに、幹と根の異常については、大きな異常から3つまでの記載とするなどの効率化をおこない、街路樹点検カルテを作成した。（図-5）

なお、作成にあたっては、専門家である樹木医と一緒に3日間の試行を行っている。

4.2 改善策2：安全確保を優先した運用と異常箇所一覧表の作成

街路樹点検結果による異常箇所の措置について、第三者被害の可能性がある危険枝はすべて剪定撤去し、危険木については、基本的に伐採するとともに、保全が必要な樹木のみ街路樹診断を実施する方針とした。（図-6）

また、幹・根の異常箇所の処置については、被害が小さく今後自然に回復することが見込まれる場合は伐採し

ないが、今後悪化する場合も想定される。

そこで、落枝や倒木に至る前に発見し対応するため、異常・被害箇所の一覧表（表-3）を作成し定期的に経過観察することとした。さらに、毎年実施している緑地管理工事の樹木巡回時にこの一覧表を活用することで定期的に異常や被害の状況を確認することとした。

5. 効率的な街路樹診断（街路樹点検）の取り組み結果

5.1 街路樹点検の試行

平成24年10月29日～11月1日（3日間）にかけて、過去の街路樹診断を実施している65本について、効率的な街路樹診断としてとりまとめた街路樹点検（案）を試行的に実施した。（写真-7）

実際に樹木医と一緒に試行することで、必要最低限の点検項目と点検精度について専門的な意見を聞くことができ、第三者被害につながる異常箇所について効率的に把握できることを確認できた。

No. 021

街路樹診断カルテ2

樹木番号 DGDH2903-001

樹種名 フラナス

東京国道

事務所

立地平面図

樹木全景写真

樹形略図(被害状況図)

点検カルテ

診断年月日: 診断者:

路樹名	距離	樹高
樹木名	上り・下り	幹周
樹木番号		枝張り
場所		

樹勢	1(良い)・2(普通)・3(少し悪い)・4(悪い)・5(枯死)	不自然な傾斜
樹形	1(良い)・2(普通)・3(少し悪い)・4(悪い)・5(かなり悪い)	無・有(安全・危険)

被害・異常箇所番号(枝)	
枝1	枝2
枝3	枝4
枝5	枝6

被害・異常箇所の高さ	m	m	m	m	m	m
------------	---	---	---	---	---	---

内容	枝1	枝2	枝3	枝4	枝5	枝6
病虫害	種名					
枯れ枝・ぶら下がり枝	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
健康限界を越境している枝	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
枝の異状	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
大枝分岐部の異状	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有

被害・異常箇所番号(幹・根)		
幹根1	幹根2	幹根3

被害・異常箇所の高さ	m	m	m
------------	---	---	---

内容	幹根1	幹根2	幹根3
病虫害	種名		
空洞	芯達・未達	無/未達・達	無/未達・達
腐朽	幅	cm	cm
銅棒貫入異常	貫入深	cm	cm
銅棒貫入異常	貫入部幹径	cm	cm
子実体	種名		
樹皮の欠損・枯死	無・有	無・有	無・有
打診音異常	無/小・大	無/小・大	無/小・大
亀裂	無/小・大	無/小・大	無/小・大
ルートカラーが地面に見えるか	見える・見えず	見える・見えず	見える・見えず
露出根の被害	無/小・大	無/小・大	無/小・大
不完全結合	無・有	無・有	無・有
隆起	無/小・大	無/小・大	無/小・大
樹体の揺らぎ	無/小・大	無/小・大	無/小・大

特記事項

枝	幹根1	幹根2	幹根3
被害の程度	大・中・小	大・中・小	大・中・小
内容			
実施日			

精密診断	必要・不要	理由	管理者記入欄
箇所		実施日	保全必要性 必要・不要

図-5 異常箇所の記載方法を効率化（街路樹点検カルテ）

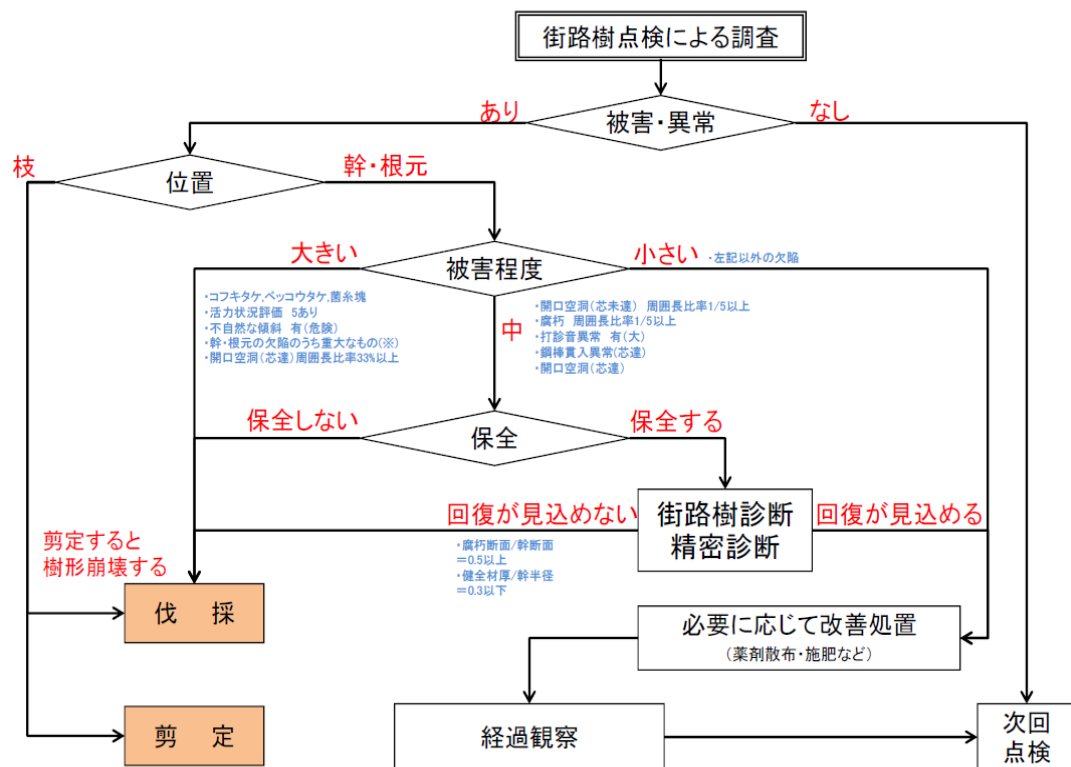


図-6 街路樹点検結果による措置フロー

表-3 幹の異常・被害箇所一覧表 (抜粋)

基本情報						活力状況			箇所名	幹・根株																	
路線名	距離票	上り下り	樹木番号	樹種	場所	樹勢	樹形	不自然な傾斜		高さ	病虫害	空洞			腐朽		銅棒貫入異常		子実体	樹皮の欠損・枯死	打診音異常	亀裂	ルートカラー	露出根の被害	不完全結合	隆起	樹体の揺らぎ
												芯達・未達	空洞幅	空洞周囲長比率	腐朽幅	腐朽周囲長比率	貫入深	貫入部幹径									
R20	21	下	XXXX	ケヤキ	下北沢	1	1	安全	幹根1	2		達	0.2	1/3	0.2	1/3	0.1	0.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
R20	21	下	XXXX	ケヤキ	下北沢	1	1	安全	幹根2	0.2		未達	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
R20	22	上	XXXX	ケヤキ	下北沢	1	1	無	幹根1	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	見えない	-	-	-	-	

←

どここの場所に

→

←

どんな異常が

→



写真-7 街路樹点検の試行状況

5.2 街路樹点検の実施

平成 25 年 3 月に街路樹点検を 7 日間実施した結果、約 240 本の街路樹を点検でき、1 日平均で約 35 本であった。このことから、従前の街路樹診断では、1 本あたり約 2 万円かかった費用は、約 4 千円/本となり約 8 割縮減することができた。

5.3 同じ課題を抱える他事務所との連携

平成 25 年 8 月には、関東地方整備局道路管理課が主催し、横浜等の他事務所が出席する街路樹診断等に関する

る勉強会のなかで、今回の取組みである街路樹点検について紹介した。その結果、他事務所においても試行的な街路樹点検の導入を検討することとなった。

今後は、実際の現場で樹木医による街路樹点検のデモンストレーションを行うなど、より具体的な街路樹点検方法を説明していく予定である。

6. さいごに

国土交通省では、笹子トンネルの天井板崩落事故を受け、第三者被害の可能性がある異常の抽出と応急措置を目的に、道路ストック総点検を進めている。

枝折れによる第三者被害が昨年度6件発生したことから、東京国道事務所管内では、道路ストックのなかで、実は街路樹が一番の重点課題と考えている。

今後は、樹木保全から安全確保を優先した方針への転換により、伐採対象樹木が増加することが見込まれるが、緑陰等の重要な役割を担う街路樹を減らさないことが課題となる。伸長量が少なく剪定頻度が少ない樹種や、落葉が比較的少ない常緑樹など、管理しやすい樹木に順次更新していく検討もしていきたい。

また、街路樹点検実施済み区間の落枝や倒木の状況について検証していくとともに、更なる改善をおこない、安全・安心・快適な道路を確保する街路樹の管理を進めていく所存である。